



日立ソリューションズ・クリエイト

南 章一 社長

2024年度は中期経営計画の最終年度になるため、計画を確実に達成させると同時に次期中計の準備を進め、スタートダッシュできるようにしていきたい。

日立製作所と日立ソリューションズと連携して進めるSIと、独自に展開するソリューションサービスの2軸で事業を進める中、23年度は双方とも前年同期比10%増収で推移した。利益率も着実に上がり、全社員がプロセスとルールを徹底し生産性と品質を高めたことが成果につながった。

従業員として掲げ取り組んできた。ITシステムのモダナイゼーション（近代化）は順調に伸びたほか、セキュリティは引き合いが多い。

当社のセキュリティ業として掲げ取り組んできた。ITシステムのモダナイゼーション（近代化）は順調に伸びたほか、セキュリティは引き合いが多い。

社員へのSX浸透図る

本格的に始めた。まずはトレーニングをはじめ、企業の課題をみんなと一緒に支援をする協創型セキュリティが強みになっている。高度な技術を持つセキュリティエンジニアとともにコンサルティングから支援し、企業のセキュリティ課題を解決している。

本格的に始めた。まずはトレーニングをはじめ、企業の課題をみんなと一緒に支援をする協創型セキュリティが強みになっている。高度な技術を持つセキュリティエンジニアとともにコンサルティングから支援し、企業のセキュリティ課題を解決していく。

次期中計は独自事業を社内でチャットGPTなどの実証を進めている。6月から調達と知財の問い合わせ領域で活用を始めた。社内で知見を積み、6月以降、外販できるようになる。SIなどの開発領域でも設計やテストで生成AIの活用を始めおり、日立グループとも連携していく考えだ。